

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 1. 23

下水道機構の『新技術情報』 第30号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

『桜といえば1月』と言うと皆さん、きっと驚いちゃいますね。沖縄では、桜は1月に開花します。ヒカンザクラという桜で南国らしくショッキングピンクの花を咲かせます。不思議なことに桜前線は、北部から南下してきます。北部の方が寒暖の差が大きいためだそうです。本州では有り得ない？と思いきや東京でも1月に桜を見ることが出来ました！「フユザクラ」という桜で、麴町の小さな公園に一本だけ立っています。寒くて身をかがめて歩いていましたが、寒さに負けずに咲いているサクラを見上げると心がほっこりしました。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第30号をお届けします。

業務に Tea Break にご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・下水汚泥のエネルギー化技術に係る説明会を全国12か所で開催します！
- ・3月9日(金)に東京会場(発明会館)、16日(金)に大阪会場(大阪科学技術センター)において、下水道新技術研究発表会を開催いたします！
- ・1月19日に「平成23年度 第1回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会」が開催されました

★Tea Break

- ・機構での日々(研究員S. Tさんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

- ・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

- ・1月19日付け及び号外下水道ホットインフォメーションです
-

インフォメーション (最新の話です)

- 下水汚泥のエネルギー化技術に係る説明会を開催します！

(財)下水道新技術推進機構は、昨年度に国土交通省下水道部の受託業務として、「下水道汚泥エネルギー化技術ガイドライン(案)」を策定しました。

今回は、これらのエネルギー化技術の早期実現と普及促進を図ることを目的とした、「下水汚泥エネルギー化技術に係る説明会と導入可能性の検討を行う支援業務」を国土交通省から受託しました。1月25日の大阪会場をスタートとして、最後の3月13日の広島会場まで全国12箇所の会場で説明会を開催します。対象は、各自治体下水道管理者様ですので、ご興味ある方は どしどしお申し込みください。

●平成24年3月9日(金)に東京会場(発明会館)、16日(金)に大阪会場(大阪科学技術センター)において、下水道新技術研究発表会を開催いたします!

今回の発表会には、国土交通省下水道部の塩路下水道事業課長と(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構の佐藤省エネルギー部長(大阪会場は松林主任研究員)のお二人を特別ゲストとしてお招きし、最新のホットな情報として、それぞれ「下水道をめぐる最近の話題」、「NEDOにおけるエネルギー技術に係る取り組み」についてご講演いただきます。

また、当機構からは各研究部長が、今年度の主要テーマである「東日本大震災を教訓した危機管理対策」や「下水汚泥エネルギー化技術」等について、研究成果を発表いたします。

年度末のご多忙の時期とは存じますが、皆様方、多数のご参加をお待ちしております。

なお、参加費は無料です(ただし、テキストが必要な場合は、当日テキスト代1,000円をご負担ください。その旨はWEB申し込み時にお知らせください。)。また、本発表会は、土木学会の継続教育(CPD)プログラムに認定されていますので、知見向上等に是非お役立てください。

※お申し込みは、こちらから → http://www.jiwet.jp/school/school-04_017.htm

●1月19日に「平成23年度 第1回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会」が開催されました

下水道機構では、これまでの地震対策に係る知見や東日本大震災の被災地調査等の経験を踏まえ、横須賀市の下水処理場施設の津波対策基本計画を検討する共同研究に着手しました(横須賀市と下水道機構の2カ年の共同研究)。

今後想定すべき津波は、あらゆる可能性を想定した発生確率がきわめて小さいものであり、地方自治体の厳しい財政状況を踏まえると、効率的な対策が求められます。効率的な津波対策計画の立案と実行のためには、信頼度の高い被害予測が必須となりますが、現時点では、下水処理施設に適用できる被害予測手法は、確立されておられません。

このため、下水処理場等の津波被害予測のための数値解析シミュレーション手法や、これに基づく横須賀市の下水道施設等の津波対策等の妥当性に関して、科学的、実務的な審議を行って頂くために検討委員会を設置しております。

当日は、委員長である防衛大学校システム工学群建設環境工学科の藤間教授の議事進行のもと、神奈川県「新たな津波浸水深(素案)」等が紹介されるとともに「設置趣旨」「検

討概要」「今後のスケジュール」について審議が行われました。

今後は、全国の津波防災に生かすべく、本共同研究の成果も活用し、民間企業との共同研究により、下水処理場等の津波シミュレーションモデルの利活用マニュアルを作成する予定です。

尚、委員会の概要については、後日ホームページへ掲載します。

機構の動き (機構の行事予定です)

- 1月25日(水) 10:00~12:00(場所:下水道機構8階 特別会議室)
第1回下水道クイックプロジェクト推進委員会
- 1月26日(木) 10:00~17:10(場所:下水道機構8階 特別会議室)
第2回 審査証明委員会
- 2月10日(金) 14:10~16:40(千葉市南部浄化センター 鋼板製消化タンク)
第59回(平成23年度第3回)新技術現場研修会
- ★1月27日(金) 12:00~17:30 (場所:東京国際フォーラム D5 ホールロビー)
第4回東京海洋大学「水産海洋プラットフォーム」フォーラム【研究成果ポスター展】
において東日本大震災の被災地調査・研究成果について出展します。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

- 機構での日々(研究員S. Tさんからの投稿です)
機構の門をたたいてから早いもので、1年と7ヶ月が経とうとしています。着任当時は本当に右も左もわからなく、新入社員のような質問や行動をしていたことが今でも思い出されます。当時はいくつかの技術マニュアルの担当を任させていただきましたが、未経験の分野のテーマであったため、当時の部長、副部長や所員、共同研究各社の方にも間抜けな質問を繰り返していたことを思い出すと、今でも赤面します。昨年の後半からは、親元時代の業務に関連したテーマを任せられるようになり、勝手にわかってきたように思います。
そんな中、東日本大震災が発生しました。私は二次隊の一員として岩手県に行ってきましたが、当時はただただ、津波被害の大きさに唖然とするばかりでした。今年は主に、管路の維持管理に関するテーマを与えられ、日々研究に勤しんでいる毎日です。
そんな自分も気がつけば残りの日数を気にするようになってきました。限られた機構での日々です。後悔しないように職責を果たし、今後の糧となるようなつながりを構築していきたいと思います。

みなさまのコラム(皆様からお寄せいただいた情報です)

下水道（環境）にも優しい「ダイエットレシピ」による料理がランチで提供されることとなりました。（詳細は添付資料をご覧ください）

「ダイエットレシピ」とは、東京都下水道局が栄養専門学校と協力して、調理方法の工夫により油の使用量を減らした料理方法を一般公募・評価しすばらしい料理方法については「ダイエットレシピ」として認定し東京都下水道局HPにて公表しているものです。

（HPアドレス：http://www.gesui.metro.tokyo.jp/oshi/inf0284_5a3.htm）

油の使用量を減らしたヘルシーな料理となっておりますので、大変短い期間ではありますが、都庁にお越しになられる機会がありましたら是非ランチをお試し下さい。

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/>

○コラムの正解はこちらから→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/seikai.pdf>

